



# 1909 フォード「モデル T ツーリング」



## 製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	7,728
総生産量	10,660
馬力	22
重量	1200ポンド/544キログラム
当時売価	\$850

## イノベーション(ポイントのみ)

1909末期に3つのペダルと1つのレバー付き

軽量で強靱なバナジウム鋼の使用

分離式のエンジンブロックとエンジンヘッドを採用

フライホイール式磁気点火システム

荒い地形のための3点サスペンション採用

2速プラネタリトランスミッション

## 「エリザベス」に会う

“私は大勢の人のために車を造ります”とフォードは1907年に宣言しました。今は昔のように見えるかもしれませんが、1908年にモデルTは革命的でした。安価、軽量、耐久性があり、運転と修理が簡単で、普通の家族にとって大きな価値でした。

モデルTは軽量で耐久性の高い車両、製造と修理のプロセスを簡素化するリムバブルシリンダーヘッド、使い易い新しいプラネタリトランスミッション、大型バッテリーの必要性を排除し、重量とコストをさらに削減しました。モデルTは、私たちが何をしたのかだけでなく、今日の生活様式も変えました。我々はこのモデルTをエリザベスと呼んでいる。

ミシガン州のジョンフォスター、ロイヤルオークから貸出。ジョンはピケに多くの車を貸出している。彼もピケット博物館モデルTクラブの非常に活発なメンバーです。